

西公民館だより



(如月)

2月の節分は「鬼は外・福は内」と唱えて豆を投げ、家族の健康やこの年の安寧などを願うのが一般的な節分の定番とされてきましたが、最近は一定の方角に向かって恵方巻を黙々と食しながら願い事をするという節分行事も流行りのようです。

各家庭での節分が何れの取り組みになろうとも、コロナ禍の脅威からの脱却と収束の願いが叶えられ、この節分を境として何よりも平穏な暮らしを一日も早く取り戻すとともに心弾むような春のぬくもりを迎えたいものです。

館長 志村 克美

主事 津田 はるみ



文芸作品出展のお願い

地域の皆様が日頃から学習された文芸作品の「展示会」を今年度末に開催することとなりました。

西公民館の各教室での学習成果をはじめ、地域の皆様が日頃から手掛けた文芸作品等を発表していただきたいと思いますので、大勢の皆様から作品の出展をお願いします。

記

提出期限 令和4年2月25日まで
連絡先 主事 津田 はるみ
電話 [REDACTED]



ふれあい文芸

下西区「いきいきサロン」川柳部

ひこばえ塩山短歌会

友と会いカラオケ歌い年忘れ 秋山 寿子

年のさば九十越せば足し算になり 根岸 詩子

トップの名覚えぬままに又変る 古屋 孝子

さむ空に早や芽を出した黄水仙 吉野富士子

年寄りが地震に跳ね起き年越える 吉川 燐子

寒い朝気合を入れて起きる日々 望月八重子

階段を踏み外し聞こえた母の声 鈴木 節子

雨風で冬の寒さに防寒着 三森 郁子

毎朝のラジオ体操あと幾年 若杉 政子

息孫と宮に参って無事祈る 石原 幸子

毎年の歳暮用にと寒い中日々頑張りて枯露柿作る
ころ柿の作業終えれば年末で無事に過ぎたと安堵するなり
来年は我が寅年で七回目どんな年やら期待と不安

古屋 和子

寒風に落葉舞う音かさかさとしばし聞ゆる夜の静けさ
久々に訪ね来たりし孫三人背丈の伸びて笑顔見上げる
都会では星の見えぬと喜びて星座を探す声の聞こえる

小林 節子

百年を眺め楽しみし糸楓異常気象に根から枯れたり
植木々の緑の中に山茶花の色鮮やかに冬を彩る
毎日を元気で過す有難さ零下の寒さもあまり気にせず

武川 玉子